

Steinway Piano Recital Komaba, The University of Tokyo

2007 年 9 月 26 日 (水) 18 時 (開場 17 時 30 分)

18:00 P.M., September 26 (Wed), 2007

コミュニケーション・プラザ 音楽実習室

Music Practice Room, Communication Plaza, Komaba

フレッド・ハーシュ (ジャズピアノ)

FRED HERSCH (Jazz Piano)

独奏と講演 (通訳付)

Piano Solos and Lecture



Fred Hersch

東京大学教養学部ピアノ演奏会



※入場いただけるのは、教養学部・総合文化研究科・理学部数学科・数理化学研究科の学生・教職員です。駒場博物館(アドミニ棟脇)で整理券をお申し込みください。

Admission restricted to Students and Faculty of Komaba campus (Admission free for students). Reservation tickets to be obtained at Komaba Museum (next to Administration Office).

連絡先 Contact: anshin@ask.c.u-tokyo.ac.jp

フレッド・ハーシュ(Fred Hersch)

ピアニスト・作曲家。スタンダードレパートリーの発掘者、再構築者としての実力は広く知られる。「ピアノの詩人」(ニューヨーカー誌)、「独自のスタイルを貫く巨匠」(ニューヨークタイムズ紙)等、各紙絶賛。二度のグラミー賞ベスト・ジャズインストゥルメンタル部門ノミネート。2003年グッゲンハイム美術館記念フェローシップ作曲部門賞。ロックフェラー財団作曲家賞受賞。2007年度グラミー2部門にノミネート。受賞作品の3枚組CD「ソングス・ウィズアウト・ワーズ」に代表される様に、同世代のピアニストに比べ多くのソロ・ピアノの録音を制作。

1977年ボストンのニューイングランド音楽院を主席で卒業後、ニューヨークでプロとしての活動を開始するや、実力を認められ、スタン・ゲッツ(ts)、ジョー・ヘンダーソン(ts)、アート・ファーマー(tp)のサイドメンを務める。トゥーツ・シールマンス(harm)、ゲリー・パートン(vib)、カート・エリング(vo)、ジェーン・アイラブルーム(sax)、サム・ジョーンズ(b)、チャーリー・ヘーデン(b)等と共演。20枚以上に及ぶリーダーアルバム、ソロアルバムに加え、20以上のアルバムに共演共作者として参加。ゲストプレイヤーとして参加したCDをあわせると80枚以上に及ぶ。

作曲活動も精力的に行い、近年のCDやライブではオリジナル曲が重要な部分を占める。ホイットマンの詩を元にした全曲オリジナルオラトリオ風の「リーブス・オブ・グラス」は、二人のヴォーカルとオクテットで編成され、大好評を博す。ピアノ曲「バッハ平和のコラール24の変奏曲」「3キャラクタースタディ」、室内楽曲「トリオの為のリリックピース」は楽譜出版の有名老舗ペーター版より出版。クラシック・ピアニストのクリストファー・オーライリーとのデュオで「ハードフレッシュ:2台の為の音楽」と題したツアーを行う他、クラシック界の名花ソプラノ歌手リニー・フレミング、ドーン・アップショウをはじめ、ナジャ・サレルノ・ソーネンバーグ(vln)、ジェフリー・カハーン(pf)といった豪華な顔ぶれとの共演、録音も多数行う。

またエイズ撲滅の為に積極的に発言、活動。チャリティ団体「クラシカルアクション・パフォーミングアーツ・アゲインスト・エイズ/ブロードウェイ・ケア」に4枚のCDをプロデュース、参加協力。その寄付金は20万ドルを超え今なお更新中。CBSテレビ「ピリー・テイラーのサンデーモーニング」のテーマ曲を手がけ、NPRラジオの人気番組「マリアン・マクパートランドのピアノジャズ」に度々出演。受賞作品を続々生んだ毎年のマクドゥーウェル・コロニーでの作曲活動も注目される。ニューイングランド音楽院の名誉博士を10年以上務め、ニューヨークのニュースクール、シティ・カレッジ等で教育者としても献身的活動続ける。

公式ホームページは www.fredhersch.com

申込方法と会場のご案内

※ご入場いただけるのは、教養学部・大学院総合文化研究科・理学部数学科・大学院数理科学研究科の学生・教職員のみです。

学生、教職員ともに、申込書と入場整理券に必要事項をご記入の上、美術博物館事務室までお持ちください。入場整理券に押印いたしますので、当日ご持参ください。申し込み受付時間は月～金(祝日を除く)の10時から18時です。

なお教職員の方は、当日会場受付にて、寄付金(一口1,000円、一口以上)を申し付けます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いします。学生の入場は無料ですが、寄付は歓迎いたします。当日受付でお申し出下さい。

主 催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部
問合せ：電話 03-5454-6288(安西)
メール anshin@ask.c.u-tokyo.ac.jp



申込書

氏名： _____ 学生／教職員

所属： _____ 研究科・学部

専攻・系・学科・科類・課 _____

入場整理券

2007 年 月 日

様 学生／教職員

東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長

※印のないものは無効です。